







麻呂  
作  
上  
卷

兎

身丸



貞  
画



山本  
梓

十二支の内鬼の記

玉兎ぎんとうをせりり、辛子予と学べる臥る木中の登るを養つて悪きと何んを責んぬ汝が備への徳をとりて耳をと長くるやらん子房が度量ありて色いと白くるやされと髯のるはゆも非まいる謀とりて浪と走いる術をりて月中の入と瓜はる株かつまつて愚者のたのの候るをと勿れ脱兎の勢いとりて女を過ると勿れ性目る足の金の指不以て短く目の珊瑚の玉の價と飾もるは養とまるの山と土丹の大な柄受せらるの金ちののか相なと泡瘡子の昔い或ハ雪境はたられて胸をあかおの瘤をり何んと何んと熱るや耳を格氣の用ると疑いると勿れ必ず校兎の三兎をと獵人の矢玉とみせき裘の製せらるはと慎しめ

天保十二年丑年孟春發行墨川亭雪庵





丑  
大威徳明王

玉菊妹  
玉虫

辰  
辰  
御大桃花

佐々木の  
臣  
瀬川采女

巳  
巳  
怨の口縄

子  
子  
巖山加次郎

午  
午  
...







鳳字  
屋  
玉菊

天  
歡  
喜  
天  
の  
尊  
像

申  
猿  
の  
面

未  
既  
の  
羊

家  
僕  
山  
一  
文  
太  
四



采  
女  
妻  
阿  
菊

酉  
兎  
の  
鶏  
絵

一  
子  
友  
石

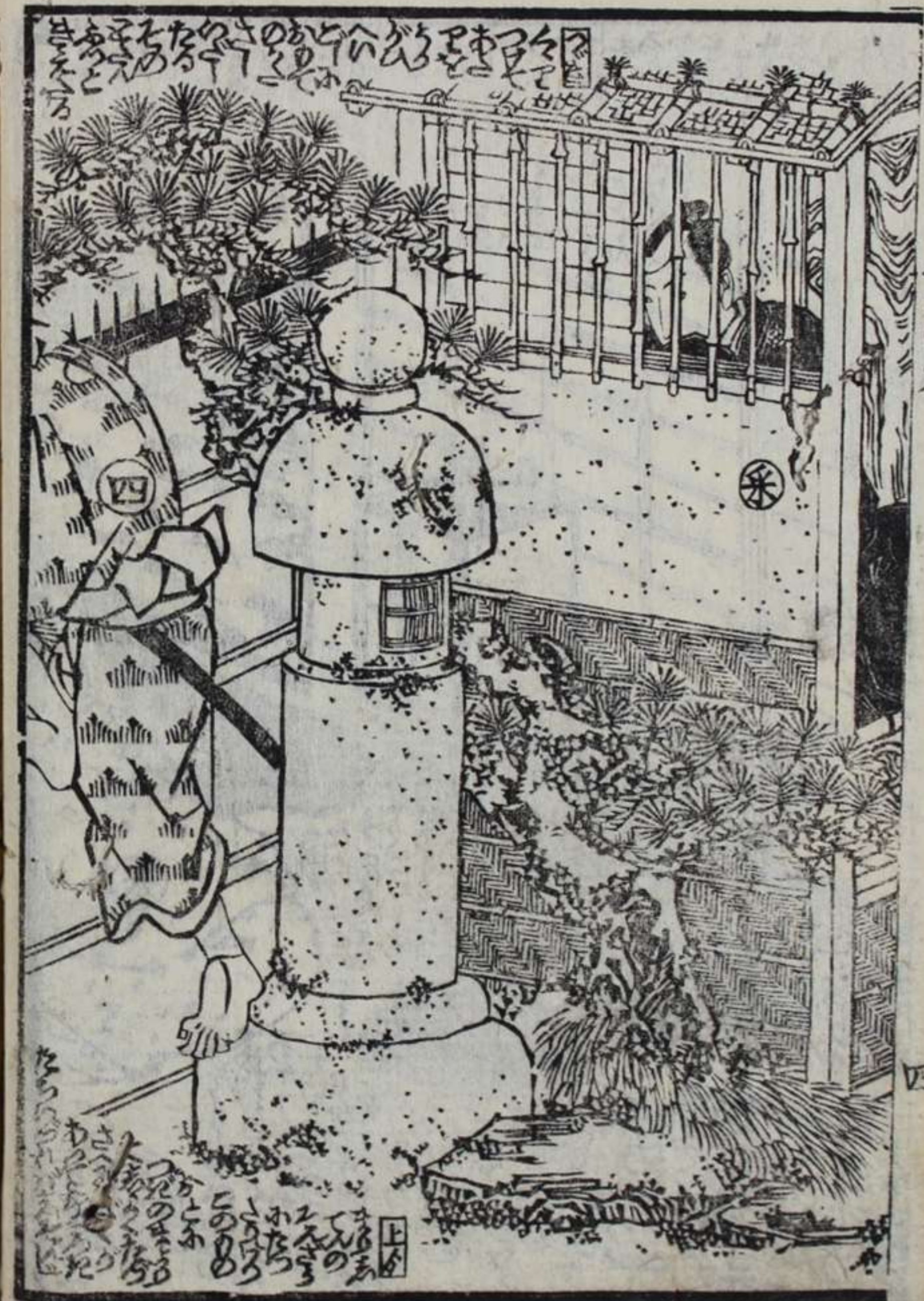
夕  
鬼  
の  
根  
附

寅  
午  
遊  
の  
張  
子









Vertical text on the right edge of the page, likely a page number or title.

Small square seal or mark at the bottom right of the page.



























Handwritten text at the top of the page, possibly a title or reference.

Main body of handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript.

包次大 (Large characters, likely a title or section header)

Table with 3 columns and 4 rows of handwritten entries.

天壽星子壽 (Large characters, likely a title or section header)

国文  
24L  
43



文  
圖書  
年度

文  
L  
3